



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 呼吸器外科 熊谷遼介

【研究責任者】

聖路加国際病院 呼吸器外科 熊谷遼介

当院の呼吸器外科で手術を受けた方を対象とした 術後疼痛（手術後に起こる痛み）に関する研究

1.研究の対象

2014年1月～2023年12月に当院で呼吸器外科手術を受けられた方

2.研究の目的・方法

呼吸器外科領域では、胸腔鏡下での手術が主流となり、術後の疼痛が緩和されてきていますが、創部や肋間神経に沿った疼痛頻度は22～63%であり、これは開胸術後の慢性疼痛の有病率と匹敵しており、肋間神経痛によるものと考えられています。現在様々な方法で鎮痛を試みられてきていますが、効果的な鎮痛は現在も課題となっています。

当科でも今までに、様々な鎮痛を行ってきていますが、その効果と副作用の頻度の詳細な調査は行われていません。

今回の研究では、当科での術後疼痛の出現頻度・程度、鎮痛法による副作用の実態調査を目的としています。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2025年3月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2024年1月22日を予定しております。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》

対象者背景：ID、年齢/性別、身長/体重、診断、既往歴、前治療、合併症など
術式・鎮痛法・術後経過に関して、手術記録・麻酔記録・退院時サマリに記載の項目など

有効性に関する項目：入院中処方薬、退院時処方薬、外来処方薬、入院中NRS、退院後外来でのNRS、EQ5D5Lスコア（疼痛や生活の質に関するスコア）など